



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

六年生

四月 第②週

〈カレライリス〉





みなさんにお知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から
印刷やダウンロードができます。



お家の方へ

1. 授業で使う文章を印刷する際、お子さんのお手伝いをお願いします。
 2. ノートは特に規定はありませんが、漢字学習用と国語のノートの2冊を用意してあげてください。
 3. 質問や作文などの添削はメールで随時受け付けています。積極的に送るように、声掛けをお願いします。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から印刷やダウンロードができます。

① 授業で使う文章を印刷してください。



印刷の仕方

1. Webページ <http://JPNCClass.com> へ行きましょう。
2. YouTube授業をクリックしましょう。



The screenshot shows the JPNC Class website homepage. At the top left is the logo for 'JPN Class Online school - 日本語で学ぼう'. Below the logo is the text '日本語で学ぼう! 小学生、中学生向けオンライン授業'. In the top right corner, there are navigation links: 'お知らせ', 'YouTube 授業', 'オンライン授業', '講演会・セミナー', '講師プロフィール', and 'ご意見・連絡先'. The main heading in the center is 'ようこそ JPN Class へ'. Below the heading, there is a paragraph of text on the left and an illustration of a person sitting at a desk with a computer monitor and an open book on the right. The computer monitor displays the JPNC Class logo and a list of video thumbnails. The text on the left describes the school's purpose and services.

JPNClassは、海外に暮らす子どもたちとご家族をサポートする目的で開設されました。子どもたちにオンラインでの国語などの授業を提供します。また、ご家族と海外での日本語教育や子育てについて共に考える講演会やセミナーを開催します。

授業は、オンライン授業 (Zoom)、ビデオ (Youtube)を通して提供します。現在お住まいの地域に日本語補習校など日本語を学ぶ学校がない、行く時間がない、あるいは自分のペースで日本語の勉強を進めたいといった子どもたちに最適です。

詳しくは、オンライン授業、YouTube授業、講演会・セミナーのページをご覧ください。

印刷の仕方

3. 小6国語 4月第2週 〈スライド (PDF)〉をクリックしましょう。

 **JPN Class**
Online school - 日本語で学ぼう

日本語で学ぼう! 小学生、中学生向けオンライン授業

YouTube 授業

小学6年生 国語: <YouTubeチャンネル 小6国語>

• 小6国語	9月第1週	<YouTubeビデオ>	<スライド (PDF)>
• 小6国語	9月第2週	<YouTubeビデオ>	<スライド (PDF)>
⋮	⋮	⋮	⋮
• 小6国語	3月第4週	<YouTubeビデオ>	<スライド (PDF)>
• 小6国語	4月第1週	<YouTubeビデオ>	<スライド (PDF)>
• 小6国語	4月第2週	<YouTubeビデオ>	<スライド (PDF)>

ぼくは悪くない。
だから、絶対に「ごめんなさい。」は言わない。言うもんか、お父さんなんか。
「いいかげんに意地を張るのはやめなさいよ。」
お母さんはあきれ顔で言うけど、あやまる気はない。先にあやまるのはお父さんのほうだ。
確かに、一日三十分の約束を破って、夕食が終わった後もゲームをしていたのは、よくなかった。だけど、セーブもさせないで、いきなりゲーム機のコードをぬいて電源を切っちゃうのは、いくらなんでもひどいじゃないか。
「何度言っても聞かなかったんだから、しょうがないでしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、ちゃんとあやまりなさいよ。いいわね。」
お母さんはいつもお父さんのみかたにつく。
やあだよ、と言い返す代わりに、ぼくはそっぽを向いた。お父さんにしかられたのは、ゆうべ。丸一日たっても「ごめんなさい。」を言わなかったもは新記録だった。
「いい。今夜のうちにあやまって、仲直りしときなさいよ。あしたから、『お父さんウィーク』なんだから、けんかしたままだとつまらないでしょ。ひろしだって。」

25

カレールライス



4.  がついているページを印刷しましょう。

②必ず用意してください

- ・ 国語のノートと漢字ノート
- ・ 筆記用具（赤ペン、赤えんぴつも必要）

③気をつけること

- ・ 大事だと思うところはノートに書いてください。
- ・ 「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。



- ・ 必要があるときは、ビデオを止めた
り、もう一度ビデオを見たりしてく
ださい。

- ・ 授業で使っているスライドを、印刷した
い人は、①と同じように **Webページ**

<http://JPNClass.com>

からできます。

漢字テスト①

読み方をノートに書きましょう。

電源

晩ご飯

大盛り

困る

片付ける

痛い

翌朝

出勤

危ない

半信半疑

担当

視点

腹

半ば



漢字テスト①

読み方をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

電源

でんげん

晩ご飯

ばんごはん

大盛り

おおもり

困る

こまる

片付ける

かたづける

痛い

いたい

翌朝

よくあさ・よくちよ
う

出勤

しゅっきん

危ない

あぶない

半信半疑

はんしんはんぎ

担当

たんとう

視点

してん

腹

はら

半ば

なかば

漢字テスト②

漢字ををノートに書きましよう。

でんげん

ばんごはん

おおもり

こまる

かたづける

いたい

よくあさ

しゅっきん

あぶない

はんしんはんぎ

たんとう

してん

はら

なかば



漢字テスト②

漢字ををノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

でんげん

電源

ばんごはん

晩ご飯

おおもり

大盛り

こまる

困る

かたづける

片付ける

いたい

痛い

よくあさ

翌朝

しゅっきん

出勤

あぶない

危ない

はんしんはんぎ

半信半疑

たんとう

担当

してん

視点

はら

腹

なかば

半ば





しげまつ きよし
重松 清 作
とうじんばら のりひさ
唐人原 教久 絵

ぼくは悪くない。
だから、絶対に「ごめんなさい。」は言わない。言うもんか、お父さんなんか。
「いいかげんに意地を張るのはやめなさいよ。」

お母さんはあきれ顔で言うけど、あやまる気はない。先にあやまるのはお父さんのほうだ。

確かに、一日三十分の約束を破って、夕食が終わった後もゲームをしていたのは、よくなかった。だけど、セーブもさせないで、いきなりゲーム機のコードをぬいて電源を切っちゃうのは、いくらなんでもひどいじゃないか。

「何度言っても聞かなかったんだから、しようがないでしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、ちゃんとあやまりなさいよ。いいわね。」

お母さんはいつもお父さんのみかたにつく。

やあだよ、と言いつ返し代わりに、ぼくはそっぽを向いた。お父さんにしかられたのは、ゆうべ。丸一日たっても「ごめんなさい。」を言わなかったのは新記録だった。

「いい。今夜のうちにあやまって、仲直りしときなさいよ。あしたから、『お父さんウィーク』なんだから、けんかしたままだとつまらないでしょ。ひろしだって。」

毎月半ばの一週間ほど、お母さんは仕事がいそがしくて、帰りがうんとおそくなる。その代わり、お父さんが夕食に合わせて早めに帰ってくる。それが「お父さんウィーク」だ。

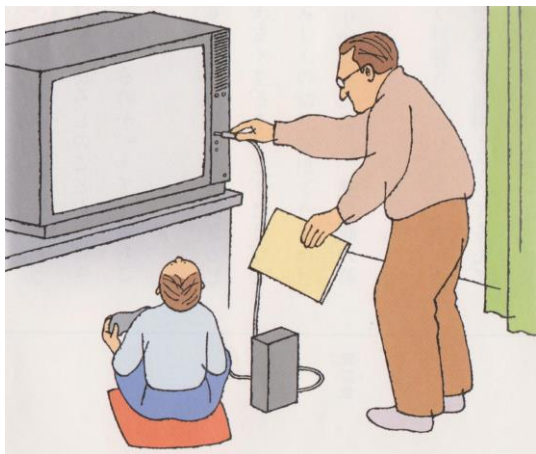
「お父さん、ひろしがよくないことをしたらしかるけど、ひろしのことが大好きなのよ。分かるでしょ。今朝も『ひろしは、まだすねてるのか。』って、落ちこんでたのよ。」

《新しい漢字》

電源 ゲン

《新しい読み方の漢字》

半ば なか





ほら、そういうところがいやなんだ。ぼくはすねてるんじゃない。お父さんと口をききたくないのは、そんな子どもっぽいことじゃなくて、もつと、こう、なんていうか、もつとー。」

「『特製カレーをたべれば、きげんも直るさ。』って張り切ってたから、晩ご飯の前におかし食べたりしないですよ。」

「またカレーなの。」

「文句言わないの。だったら自分で作ってみれば。学校で家庭科もやってるんですよ。六年生になったのに、遊んでばかりで家のことちつともしないんだから、全く、もうー。」

お母さんはいつだって、お父さんのみかただ。

それがくやしかったから、何があっても絶対にあやまるもんか、と心に決めた。

「お父さんウィーク」の初日、お父さんは、さつそく特製カレーライスを作った。

「ほら食べる、お代わりたくさんあるぞ。」

と、ごきげんな顔で大盛りのカレーをぱくつく。

でも、お父さんは料理が下手だ。じゃがいもやにんじんの切り方はでたらめだし、しんが残っているし、何よりカレーのルウが、あまつたるくてしかたない。

カレー皿に顔をつっこむようにしてスプーンを動かしていたら、お父さんが、

「まだおこってるのか。」

と、笑いながら言った。

「ひろしもけっこう根気があるなあ。」

根気とは、ちよつとちがうと思う。どっちにしても、返事なんか、しないけど。

「この前は、いきなりコードぬいちゃって、悪かったなあ。」
あつさりあやまられた。最初の予定では、これでぼくもあやまれば仲直り完了。ーのはずだったけど、ぼくはだまっただままだった。

「でもな、一日三十分の約束を守らなかったのは、もっと悪いよな。」

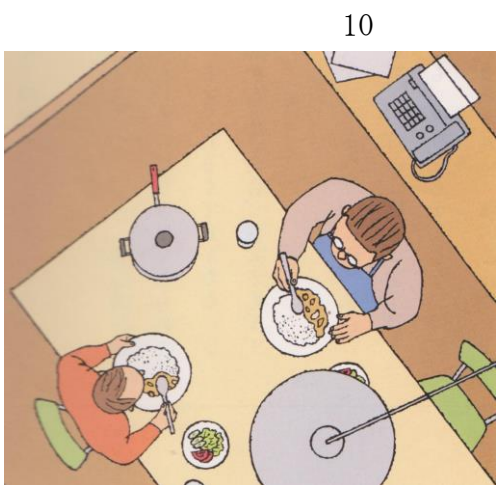
分かってる、それくらい。でも、分かってることを言われるのがいちばんいやなんだってことを、お父さんは分かってない。

「で、どうだ。学校、最近おもしろいか。」

ああ、もう、そんなのどうだっていいじゃん。言葉がもやもやとしたけむりみたいになって、むねの中にとまる。

知らん顔をしてカレーを食べ続けたら、お父さんもさすがにあきらめたみたいで、そこからもう話かけてこなかった。

「お父さんウィーク」の初日は、そんなふうに、おしゃべりすることなく終わった。



次の日の夕食も、カレー。ゆうべの残りを温め直して食べた。ふうのカレーだと、一晩おくとこくが出ておいしくなるけど、特製カレーのあまったるさは変わらない。

「なあ、ひろし、いいかげんにきげん直せよ。しつこすぎないか。」

おとうさんは、夕食のとちゅう、ちよつとこわい顔になって言った。ぼくも本当は、もう仲直りしちゃおうかな、と思っていたところだった。でも、先手を打たれたせいで、今さらあやまれなくなった。ここであやまると、いかにもお父さんにまたしかられそうになったから—みたいで、そんなのいやだ。

「もしもうし、ひろしくうん、聞こえていえますかあ。」

お父さんはてのひらをメガホンの形にして言ったけど、ぼくがだまったままなので、今度はまたおつかない顔にもどって、

「いいかげんにしろ。」

とにらんできた。





ぼくはかたをすぼめて、カレーを食べる。おいしくないのに、ぱくぱく、ぱくぱく、休まずに食べ続ける。

自分でも困ってる。なんでだろう、と思ってる。今までなら、あっさり「ごめんなさい。」が言えたのに。もつとすなおに話せたのに。特製カレーだって、三年生のころまでは、すごくおいしかったのに。

二人でだまってお皿を片付けているとき、お父さんは、「頭が痛いなあ。」

とつぶやいて、大きなくしゃみをした。

かぜ、ひいたんじゃないのー。

薬を飲んで、早くねたほうがいいんじゃないー。

言いたかったけど、言えなかった。

翌朝、自分の部屋から起き出したぼくと入れかわるように、お父さんは、

「悪いけど、先行くからな。」

と、朝食も食べずに家を出ていった。「お父さんウィーク」では、よくあることだ。会社から早く帰ってくる分、朝は一番乗りして、ゆうべでできなかった仕事を片付けるのだ。

お母さんはまだねている。これも、「お父さんウィーク」のいつものパターン。仕事がいそがしい一週間のうち、特に忙しい何日かは、家に帰るのが真夜中の二時や三時になる、その代わり、次の日はふだんより少しだけゆっくり出勤すればいいのだという。

食卓には、目玉焼きと野菜いためのお皿が出ていた。黄身がくずれているから、お父さんが作ってくれたのだろう。朝は時間がないんだから、おかずなんか作らなくてもいいのに。目玉焼きぐらい、ぼくはもう作れるのに。

《新しい漢字》

困るこま

片付けるかた

痛いいた

翌朝ヨク

出勤キン

でも、お父さんは、

「火を使うのは危ないから。」

と、オーブントースターと電子レンジしか使わせてくれない。それがいつもくやくして、でも、お父さんがねむい目をこすりながら、ぼくのために目玉焼きを作ってくれたんだと思うとうれしくて、でもやっぱりくやくして、そうはいつでもうれしくて―。「行ってらっしゃい。」を言わなかったから、急に悲しくなってきた。

朝食を終えて自分の部屋にもどったら、ランドセルの下に手紙が置いてあった。

「お父さんとまだ口きいてないの。お父さん、さびしがってましたよ。」

絵の得意なお母さんは、しょんぼりするお父さんの似顔絵を手紙にそえていた。

学校にいたる間、何度も心の中で練習した。

お父さん、この前はごめんなさい―。

言える言える、だいじょうぶだいじょうぶ、と自分を元気づけた。「うげえつ、そんなの言うのってかつこ悪いよ。」と自分を冷やかす自分も、むねのおくのとどこかにいるんだけど。

夕方、家に帰ると、お父さんがいた。

「かぜ、ひいちやったよ。熱があるから会社を早退して、さつき帰ってきたんだ。」

パジャマすがたで居間に出てきたお父さんは、本当に具合が悪そうだった。声はしわがれて、せきも出ている。

「晩ご飯、今夜は弁当だな。」

お父さんがそう言ったとき、思わず、ぼくは答えていた。

「何か作るよ。ぼく、作れるから。」

「えっ。」

「大丈夫、作れるもん。」





お父さんは、きよとんとしていた。でも、いちばんおどろいているのは、ぼく自身だ。

「家で作ったご飯のほうが栄養あるから、かぜも治るから。」
なんて、全然言うつもりじゃなかったのに。

「いや。でもー。」と言いかけたお父さんは、少し考えてから、まあいいか、と笑った。

「お父さんも手伝うから。で、何を作るんだ。」
答えは、今度も、考えるより先に出た。

「カレー。」

「だって、おまえ、カレーって、ゆうべもおとといもー。」

「でも、カレーなの。いいからカレーなの。絶対にカレーなの。」
子どもみたいに大きな声で言い張った。

ほっぺたが急に熱くなった。

「じゃあ、カレーでいいか。」

お父さんは笑って、台所の戸だなを開けた。

「おととい買ってきたルウがのこってるから、それを使えよ。」

戸だなから取り出したのはー甘口。お子さま向けの、うんとあまいやつ。お母さんが、

「ひろしはこっちな。」

と、ぼくの方だけべつのなべでカレーを作っていた低学年のころは、ルウはいつもこれだった。

「だめだよ。こんなじゃ。」

ぼくは戸だなの別の場所から、お母さんが買い置きしているルウを出した。

「だって、ひろし、それ『中辛』だぞ。からいんだぞ、口の中ひいひいしちゃうぞ。」

「何言ってるの、お母さんと二人のときは、いつもこれだよ。」
お父さんは、またきよとんとした顔になった。

「お前、もう『中辛』なのか。」

意外そうに、半信半疑で聞いてくる。



ああ、もう、これだよ、お父さんってなあんにも分かってないんだから。

あきれた。うんざりした。

でも、

「そうかあ、ひろしも『中辛』なのかあ。そうかそうか。」

と、嬉しそうに何度もうなずくお父さんを見てみると、なんだかこっちまでうれしくなってきた。

二人で作ったカレーライスができあがった。野菜担当のお父さんが切ったじゃがいもやにんじんは、やっぱり不格好だったけど、しんが残らないようにしつかりにこんだ。台所にカレーのかおりがふうんとただよう。カレーはこうでなくっちゃ。

お父さんは、ずっとごきげんだった。

「いやあ、まいったなあ。ひろしももう『中辛』だったんだなあ。そうだよなあ、来年から中学生なんだもんなあ。」

と、独りでしゃべって、

「かぜも治っちゃったよ。」

と笑って、思いつきり大盛にご飯をよそった。

食卓に向き合ってすわった。「ごめんなさい。」は言えなかったけど、お父さんはごきげんだし、「今度は別の料理も二人で作ろうか。」と約束した。残り半分になった今月の「お父さんウィーク」は、いつもよりちよつと楽しく過ごせそうた。

「じゃあ。いただきます。」

口を大きく開けてカレーをほお張った。

ぼくたちの特製カレーは、ぴりつとから

くて、でも、ほんのりあまかった。

25



場面ごとに区切って、くわしく読み取ろう。

「お父さんウィーク」前日

―1枚目4行目〜2枚目12行目― ≪「ぼく」がお父さんに対しておこっている理由が書かれています。≫

(1) お母さんが「ぼく」に、お父さんに対してあやまるように言ったことは何ですか。また、「ぼく」がお父さんこそ先にあやまるべきだと思っていることは何ですか。

① お母さんが「ぼく」にあやまるように言ったこと。

② お父さんがあやまるべきだと、「ぼく」が思っていること。

(2) 2枚目1行目「そういうところがいやなんだ」とありますが、ドンなところがいやなのですか。

(3) 「ぼく」は、お父さんに対してどんな態度をとることに決めましたか。

・お母さんがお父さんの（ ）を（ ）にするのがくやしかったから、（ ）と心に決めた。



「お父さんウィーク」初日
―2枚13行目目く3枚目12行目― ≪「お父さんウィーク」の初日、カレーライスを食べている「ぼく」とお父さんの様子がえがかれています。≫

(4) 「ぼく」はお父さんの作ったカレーライスをあまり気に入っていません。その理由を三つ書きましょう。

・
・
・

(5) お父さんが次の言葉を言ったとき、「ぼく」が思ったことをそれぞれ文章の中から書きぬきましょう。

① 「でもな、一日三十分の約束を守らなかったのは、もっと悪いよな。」

② 「で、どうだ。学校、最近おもしろいか。」

(6) 3枚目6行目「言葉がもやもやとしたけむりみたいになって、むねの中にたまる」とありますが、これは「ぼく」のどんな状態を表していますか。

ア お父さんに申しわけない気持ちでいっぱいの状態。

イ お父さんへのいらだつ気持ちをおさえている状態。

ウ お父さんの話を聞いて笑いをこらえている状態。



「お父さんウィーク」二日目
― 2枚13行目〜3枚目12行目― ≪「お父さんウィーク」の二日目、すなおにお父さんにあやまれない「ぼく」の気持ちが書かれています。≫

(7) 3.枚目20行目「今さらあやまれなくなった」とありますが、それはなぜですか。

(8) 4枚目3行目「なんでだろう、と思ってる」とありますが、何を不思議に思っているのですか。

・今までなら、あつさり「()」と言えし、もつと「()」に話せし、()もおいしかったのに、今はそうではないこと。

(9) 4枚目12行目「言いたかったけど、言えなかった」のは、なぜですか。

ア お父さんと口をききたくないほどおこっていたから。

イ お父さんにおこられるのがこわかったから。

ウ お父さんに対してすなおになれなかったから。



(10) この場面の「ぼく」の心の状態が最もよく表れている部分を探して、八字で書きましょう。



「お父さんウィーク」三日目の朝から昼
―4枚3行目く5枚目18行目― ≪「お父さんウィーク」の三日目、なんとかお父さんにあやまろうとする「ぼく」の気持ちが書かれています。≫

(11) 5枚目5行目「うれしくて、でもやっぱりくやしくて」とありますが、何がうれしくて、何がくやしいのですか。

・うれしいこと

()

()

・くやしいこと

()

()

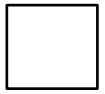
(12) お父さんにあやまる練習をしている「ぼく」について考えましょう。

① お父さんにあやまろうと考えたきっかけは、この日の朝のどんな出来事ですか。二つの出来事を書きましょう。

・
・

② どんな気持ちで練習していると思いますか。

- ア 申しわけなさとかっこ悪さが同居している気持ち
- イ 両親のためにしぶしぶあやまろうとする気持ち
- ウ 心から反省して頭を下げようという気持ち



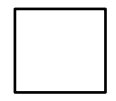
「お父さんウィーク」三日目の夕方①
―5枚19行目―7枚目7行目―《かぜをひいて早退してきたお父さんのために、「ぼく」がカレーライスを作るという場面が書かれています。》

(13) 6枚目1行目「いちばんおどろいているのは、ぼく自身だ」とありますが、何におどろいておるのか。

ア 料理だけは絶対にしないと決めていたのに、「何か作る」と言ってしまったこと。

イ うまくあやまれるかどうか不安だったはずなのに、あつさりとあやまれたこと。

ウ 長い間口をきいていなかったのに、お父さんを気づかう言葉が思わず出たこと。



(14) 次の言葉を言ったときのお父さんの気持ちとして合う物の中から選びましょう。

① 「だって、ひろし、それ『中辛』だぞ。」 …… ()

② 「おまえ、もう『中辛』なのか。」 …… ()

③ 「そうかあ、ひろしも『中辛』なのかあ。」 …… ()

ア 「ぼく」の成長をしみじみと喜んでいる。
イ 「ぼく」をまだ小さな子どもだと思っている。
ウ 「ぼく」が大きくなったことにおどろいている。

(15) 「おまえ、もう『中辛』なのか。」 「そうかあ、ひろしも『中辛』なのかあ。」 というお父さんの言葉を聞いて、「ぼく」はどういう気持ちになりましたか。
・分かってないと思いつつ、()



場面ごとに区切って、くわしく読み取ろう。

《答え付き》

「お父さんウィーク」前日

―1枚目4行目〜2枚目12行目―《「ぼく」がお父さんに対しておこっている理由が書かれています。》

(1) お母さんが「ぼく」に、お父さんに対してあやまるように言ったことは何ですか。また、「ぼく」がお父さんこそ先にあやまるべきだと思っていることは何ですか。

① お母さんが「ぼく」にあやまるように言ったこと。

ぼくが一日三十分の約束を破って、夕食が終わった後もゲームをしていたこと。

② お父さんがあやまるべきだと、「ぼく」が思っていること。

お父さんがセーブもさせないで、いきなりゲーム機のコードをぬいて電源を切ったこと。

(2) 2枚目1行目「そういうところがいやなんだ」とありますが、ドンなところがいやなのですか。

お父さんがぼくのことをすねていると思っていること。

(3) 「ぼく」は、お父さんに対してどんな態度をとることに決めましたか。

・お母さんがお父さんの（みかた）をするのがくやしかったから、（絶対あやまらない）と心に決めた。



「お父さんウィーク」初日
―2枚13行目目く3枚目12行目―《「お父さんウィーク」の初日、カレーライスを食べている「ぼく」とお父さんの様子がえがかれています。》

(4) 「ぼく」はお父さんの作ったカレーライスをあまり気に入っていません。その理由を二つ書きましよう。

- ・ じゃがいもやにんじんの切り方がでたらめだから。
- ・ じゃがいもやにんじんに、しんが残っているから。
- ・ カレーのルーがあまったらるいから。

(5) お父さんが次の言葉を言ったとき、「ぼく」が思ったことをそれぞれ文章の中から書きぬきましょう。

① 「でもな、一日三十分の約束を守らなかったのは、もっと悪いよな。」

分かってる、それくらい。(でも、分かってることを言われるのがいちばんいやなんだってことを、お父さんは分かっている。) (い。)

② 「で、どうだ。学校、最近おもしろいか。」

ああ、もう、そんなのどうだっていいじゃん。

(6) 3枚目6行目「言葉がもやもやとしたけむりみたいになって、むねの中にたまる」とありますが、これは「ぼく」のどんな状態を表していますか。

ア お父さんに申しわけない気持ちでいっぱい状態。

イ お父さんへのいらだつ気持ちをおさえている状態。

ウ お父さんの話を聞いて笑いをこらえている状態。

イ



「お父さんウィーク」二日目
―2枚13行目〜3枚目12行目― ≪「お父さんウィーク」の二日目、すなおにお父さんにあやまれない「ぼく」の気持ちが書かれています。≫

(7) 3枚目20行目「今さらあやまれなくなった」とありますが、それはなぜですか。

（ここであやまると、お父さんにまたしかられそうになったからあやまるみたいで、いやだったから。）

(8) 4枚目3行目「なんでだろう、と思ってる」とありますが、何を不思議に思っているのですか。

・今までなら、あっさり「（ごめんさい）」と言えたり、もっと（すなお）に話せたり、（特製カレー）もおいしかったのに、今はそうではないこと。

(9) 4枚目12行目「言いたかったけど、言えなかった」のは、なぜですか。

ア お父さんと口をききたくないほどおこっていたから。

イ お父さんにおこられるのがこわかったから。

ウ お父さんに対してすなおになれなかったから。

ウ

(10) この場面の「ぼく」の心の状態が最もよく表れている部分を探して、八字で書きましょう。

自
分
で
も
困
っ
て
る



「お父さんウィーク」三日目の朝から昼
―4枚3行目く5枚目18行目― ≪「お父さんウィーク」の三日目、なんとかお父さんにあやまろうとする「ぼく」の気持ちが書かれています。≫

(11) 5枚目5行目「うれしくて、でもやっぱりくやしくて」とありますが、何がうれしくて、何がくやしいのですか。

- ・うれしいこと
(お父さんが目玉焼きを作ってくれたこと。)
- ・くやしいこと
(お父さんが、ぼくに、オーブントースターと電子レンジし(か使わせてくれないと。)

(12) お父さんにあやまる練習をしている「ぼく」について考えましょう。

- ① お父さんにあやまろうと考えたきっかけは、この日の朝のどんな出来事ですか。二つの出来事を書きましょう。
- ・お父さんが目玉焼きと野菜いためを作ってくれたこと
 - ・お母さんが、お父さんの似顔絵をそえた手紙をくれたこと。

② どんな気持ちで練習していると思いますか。

- ア 申しわけなさとかっこ悪さが同居している気持ち
- イ 両親のためにしぶしぶあやまろうとする気持ち。
- ウ 心から反省して頭を下げようという気持ち。

ア



「お父さんウィーク」三日目の夕方①
―5枚19行目〜7枚目7行目―《かぜをひいて早退してきたお父さんのために、「ぼく」がカレーライスを作るという場面が書かれています。》

(13) 6枚目1行目「いちばんおどろいているのは、ぼく自身だ」とありますが、何におどろいておるのか。

ア 料理だけは絶対にしないと決めていたのに、「何か作る」と言ってしまったこと。

イ うまくあやまれるかどうか不安だったはずなのに、あつさりとあやまれたこと。

ウ 長い間口をきいていなかったのに、お父さんを気づかう言葉が思わず出たこと。

ウ

(14) 次の言葉を言ったときのお父さんの気持ちとして合う物の中から選びましょう。

① 「だって、ひろし、それ『中辛』だぞ。」 …… (イ)

② 「おまえ、もう『中辛』なのか。」 …… (ウ)

③ 「そうかあ、ひろしも『中辛』なのかあ。」 …… (ア)

ア 「ぼく」の成長をしみじみと喜んでいる。
イ 「ぼく」をまだ小さな子どもだと思っている。
ウ 「ぼく」が大きくなったことにおどろいている。

(15) 「おまえ、もう『中辛』なのか。」 「そうかあ、ひろしも『中辛』なのかあ。」 というお父さんの言葉を聞いて、「ぼく」はどういう気持ちになりましたか。
・分かってないと思いつつ、(うれしくなった)。



言葉の意味や使い方を確かめましょう。

- ① 意地をはる
- ② がんこに自分の考えや行動をおし通そうとすること。
そつぽをむく
- ③ 相手の視線をさける。また、協力しないでしらないふりをする。
すねる
- ④ すなおにしないで、わがままを言う。
あまつたるい
- ⑤ 味やかおりがとてもあまい。
- ⑥ 先手を打つ
有利になるよう、相手より先に行動する。
すぼめる
- ⑦ せまくする。体などを小さくする。

*例文を書きましよう。

口をすぼめる。

- ⑦ 出勤
勤めに出ること。
- ⑧ 冷やかす
相手が困るようなことを言って、からかう。
- ⑨ 半信半疑
半信じて、半分疑うこと。
*例文を作りましよう
兄の言うことを半信半疑で聞いた。
- ⑩ うんざり
物事にあきて、いやになること。



宿題

次回の授業までにやる勉強です。

必ずやりましょう。

1. 漢字

漢字テストの復習をしましょう。

*間違えた漢字、できなかつた漢字を主に練習しましょう。

2. 音読

「カレーライス」を読みましょう。

3. 場面ごとに区切って、くわしく読み取ろう。

*ノートをみたり、授業で使ったPDFをみて、復習しましょう。[Webページ](http://JPNC1ass.com) <http://JPNC1ass.com>
にいれば、簡単に見ることが出来ます。



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

六年生

年間学習表



8月	7月	6月	5月	4月		
		<p>討論会をしよう 討論会の流れと進 め方を学習しよう。</p>		<p>1年間の学習を通し て先生の話を聞き、 学習を進めよう。</p>	話す／聞く	
	<p>本は友達 自分の好きな本を 紹介しよう。</p>	<p>ガイドブックを作る う 読み手に必要な情 報、自分が伝えた いことをふまえて、 文章を書こう。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 文章全体を短くま とめよう。(要約 しよう。)</p>	<p>カレライス 主人公と似た経験 について書こう。</p>	書く	<p>新聞記事 記事の要約をし、 記事に対する自分 の意見を書こう。</p>
<p>船りんご 詩の言葉に現れた 筆者の気持ちを讀 み取ろう。</p>	<p>森へ 情景を想像しながら 読んで、森のイ メージを豊かに伝 える効果的な表現 を味わおう。</p>	<p>短歌・俳句の世界 短歌や俳句を讀ん で、リズムや言葉 の美しさを感じよ う。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 筆者が文章を通し て一番言いたいこ とは何か考えよう。</p>	<p>カレライス 主人公の気持ちを 考え、自分と重ね 合わせて読んでみ よう。</p>	読む	<p>新聞記事 記事の内容を讀み 取ろう。</p>
<p>同じ訓を持つ漢字 同じ訓を持つ漢字 それぞれの意味と 使い方を知ろう。</p>			<p>暮らしの中の言葉 ことわざや漢字四 字の言葉の、意味 や使い方を理解し よう。</p>	<p>漢字の形と音・意味 漢字の音を表す部 分、意味を表す部 分を知り、漢字の 組み立てを理解し よう。</p>	言葉	

1月 (冬休み=授業は3回)	12月 (冬休み=授業は3回)	11月	10月	9月	
	自分の考えを発信しよう 自分の考えをインターネットを使って、友だちに発信しよう。			みんなで生きる町 調べたことや考えたことを分かりやすく伝えよう。	話す／聞く
今、わたしは、ぼくは 自分の思いが伝わるような表現を身に付けよう。	自分の考えを発信しよう 「平和」に関する資料を通じて、自分の考えを書こう。	イートハーフの夢 宮沢賢治の考えについて分かったこと、思ったことを書こう。	やまなし この作品を読んで思ったことを、自分なりにまとめてみよう。	みんなで生きる町 調べたことをもとに、提案書を作ろう。	書く
感動を言葉に見たり感じたりしたことをもとに、心のつぶやきを言葉にしよう。	平和のとりでを築く 文の書き方の特徴に気をつけて、筆者の考えを読み取ろう。	イートハーフの夢 宮沢賢治の考え方や生き方を読み取ろう。	やまなし 独特な言葉や表現を味わおう。情景を想像しながら読んで、作品の特徴を考えよう。	みんなで生きる町 だれもが暮らしやすくするにはどうしたらいいか考えよう。	読む
漢字クイズ 小学校で習った漢字を、正しく理解しているか確かめよう。	インターネットと学習 インターネットを学習に役立てるために、注意することを確かめよう。	覚えておきたい言葉 教科や社会生活の中で使われる言葉の意味を理解しよう。	熟語の成り立ち 漢字二字・三字・四字以上の熟語について理解を深めよう。	日本で使う文字 平仮名と片仮名の由来を知ろう。ローマ字とのかかわりを知ろう。	言葉

	3月	2月	
			話す／聞く
	<p>今、君たちに伝えたいこと 筆者が伝えたいことをまとめ、俺に対する自分の考えを書こう。</p> <p>生きる 「生きる」の形をまねて、詩を創ってみよう。</p>	<p>わたしたちの言葉 いろいろなあいさつについてまとめてみよう。</p>	書く
	<p>今、君たちに伝えたいこと 筆者が経験をとおして子どもたちにつたえたいメッセージを読み取ろう。</p> <p>生きる それぞれの連に注意しながら、作者の考える「生きる」を読み取ろう。</p>	<p>海の命 周りの人々とのかわりの中で成長していく主人公の姿を読み取ろう。登場人物の言動から生き方や考え方を読み取ろう。</p> <p>言葉の橋 詩を味わい、心を伝える言葉の働きについて筆者の考えを読みとろう。</p>	読む
<p>六年生の漢字 六年生で習った漢字の復習をしよう。</p>			言葉



JPN Class

Online school – 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校六年生

四月 第①週

「いいね」

「チャンネル登録」

してください！

また来週。

